



2023年11月2日

各 位

会社名 キャリアリンク株式会社
代表者名 代表取締役社長 社長執行役員 成澤素明
(コード番号: 6070 東証プライム)
問合せ先 取締役常務執行役員 藤枝宏淑
管理本部長
(TEL. 03-6311-7321)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2023年8月10日に公表しました2024年3月期第2四半期(累計)及び通期連結業績予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2024年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正 (2023年4月1日～2023年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 25,500	百万円 2,195	百万円 2,193	百万円 1,480	円 銭 124.77
今回修正予想(B)	22,235	1,136	1,140	729	61.46
増減額(B-A)	▲3,265	▲1,059	▲1,053	▲751	
増減率(%)	▲12.8	▲48.2	▲48.0	▲50.7	
(ご参考) 前期第2四半期実績(2023年3月期第2四半期)	22,025	2,629	2,650	1,812	153.46

2. 2024年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 62,365	百万円 7,010	百万円 7,007	百万円 4,799	円 銭 404.57
今回修正予想(B)	47,705	3,175	3,177	2,122	178.83
増減額(B-A)	▲14,660	▲3,835	▲3,830	▲2,677	
増減率(%)	▲23.5	▲54.7	▲54.7	▲55.8	
(ご参考) 前期実績(2023年3月期)	52,536	7,609	7,645	5,711	483.41

3. 業績予想修正の理由

(1) 2024年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正理由

2024年3月期第2四半期連結累計期間については、主力のBPO関連事業部門において未取引地方自治体の受注獲得並びに官公庁BPO業務の領域拡大に取り組むとともにマイナンバー交付施策案件や法改正対応関連案件などで相当規模の案件を受注することを想定していましたが、マイナンバー交付施策案件については、案件の発注規模が前回業績予想時における想定を大きく下回った他、法改正対応関連案件につきましては、業務開始が今期見込めなくなったことにより受注が実現できませんでした。

また、地方自治体の経済対策関連案件の受注にも重点を置いて営業活動を展開しましたが、受注を見込んでいた一部の案件におきまして前回業績予想時に想定していた「プロポーザル競争入札」(企画競争方式)ではなく、「一般競争入札」(価格競争方式)で受託事業者選定が行われましたことなどから、想定した案件受注が実現できず、更に「一般競争入札」(価格競争方式)案件の増加に伴い、応札者も増加した結果、一案件当たりの受注価格の低廉化傾向も見られたことなどから前回業績予想時に想定していた受注高に及びませんでした。

一方、CRM関連事業部門及び一般事務事業部門につきましても、派遣業務を中心に受注増加に努めましたが、前回業績予想時に想定していた受注高には及びませんでした。これらの結果、2024年3月期第2四半期連結累計期間の売上高は、上記のとおり前回予想(上記1. 2024年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正「前回発表予想(A)」)より3,265百万円減少(12.8%減)する見込みであります。

また、利益面では、BPO関連事業部門を始めとする事務系人材サービス事業において想定した受注高を下回ったことや「一般競争入札」(価格競争方式)で受注した案件などの収益率が前回業績予想時に想定した収益率を下回ったことに加え、取引地方自治体並びに受注する業務領域の広域化への対応及び「一般競争入札」(価格競争方式)案件に対する競争力強化を図るために人員増強とシステム開発等の投資を積極的に実施したことから、第2四半期連結累計期間の営業利益は上記のとおり前回予想より1,059百万円減少(48.2%減)する見込みであります。また、経常利益は同様の理由から同1,053百万円減少(48.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は同751百万円減少(50.7%減)する見込みであります。

(2) 2024年3月期通期連結業績予想数値の修正理由

2024年3月期通期連結業績予想につきましては、BPO関連事業部門において、取引地方自治体と受注可能な業務領域の拡大を推進することに加え、当第2四半期までにBPO業務について業務プロセスの見直しと一層の効率化を図ったことにより、今後「一般競争入札」(価格競争方式)、「プロポーザル競争入札」(企画競争方式)案件を問わず、積極的に応札する予定です。しかし、マイナンバー交付施策案件など前回業績予想時では、当第2四半期までに受注して今期末まで継続を見込んでいた案件の発注規模の縮小及び失注並びに受注価格が前回業績予想時における想定を下回ったことなどに加え、今後は、「一般競争入札」(価格競争方式)による受注割合の増加が見込まれ、これに伴い案件の受注価格の低廉化が想定されることなどから、2024年3月期通期連結の売上高は、上記のとおり前回予想(上記2. 2024年3月期通期連結業績予想数値の修正「前回発表予想(A)」)より14,660百万円減少(23.5%減)する見込みであります。

また、利益面でも、「一般競争入札」(価格競争方式)などで受注する案件の収益率が前回業績予想時に想定した収益率を下回ることが予想されること並びに引き続き競争力強化を図るための投資を実施する必要があることなどから、2024年3月期通期連結累計期間の営業利益は上記のとおり前回予想より3,835百万円減少(54.7%減)、経常利益は同3,830百万円減少(54.7%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は同2,677百万円減少(55.8%減)する見込みであります。

なお、2024年3月期の期末配当に関しましては、前回予想時でお知らせしました予想どおり、1株当たり120円から修正はございません。

(注) 上記業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上

業績予想の修正について

キャリアリンク株式会社(6070)

2023年11月2日 (木)

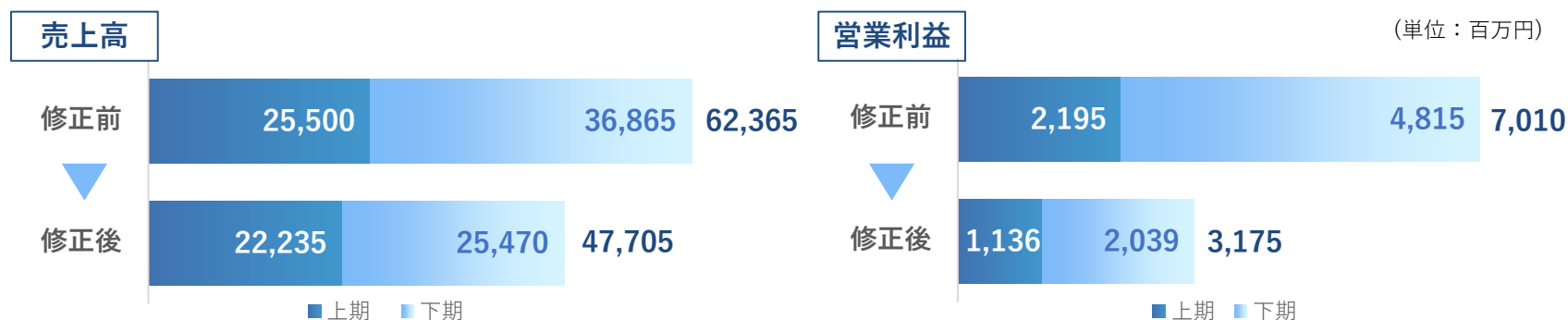
主力のBPO関連事業の市場環境変化に伴い、2024年3月期上期及び通期業績予想を下方修正する。

- マイナンバー交付施策案件、法改正対応関連案件などが前回業績予想時に想定していた発注規模を下回る若しくは今期の業務開始が見込めなくなるなどの状況変化がありました。
- 経済対策関連案件の一部案件において一般競争入札(価格競争入札)による受託事業者選定が行われたこと、一案件当たりの低廉化が見られたことなどにより、想定していた受注高に及ばなかったことに加え、案件の収益率が想定を下回りました。

■ 2024年3月期 上期業績予想 (修正前/修正後)



■ 2024年3月期 通期業績予想 (修正前/修正後)



市場環境の変化に対応し下方修正をするものの、戦術見直しにより成長継続を図る。

2024年3月期 上期業績

最大の要因は以下の「市場環境の変化」に対する体制構築に時間を要したこと。

- ・受注を想定していた案件の規模縮小、今期の業務開始が見込めなくなった等
- ・一般入札案件が増加したことで、入札価格の変化、異業種も含め当社想定以上に応札者が増加

下方修正に至った要因	背景	業績予想への影響	
		売上高	営業利益
受注件数の目標未達	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバー交付施策案件の発注規模が想定を大きく下回った。 ・法改正対応関連案件の開始が今期見込めなくなった。 ・経済対策関連案件の一部で一般競争入札が増加*し、失注や受注価格の低廉化が見られた。 以上により、前回業績予想時に想定していた受注高に達しなかった。	✓	
	BPO関連事業部門を始めとする事務系人材サービス事業において想定した受注高を下回ったことから固定費負担が増加した。		✓
	CRM関連事業部門及び一般事務事業部門について、想定していた成長が実現できなかった。	✓	
一部案件の収益率が想定を下回った	「一般競争入札」などで受注した案件の収益率が想定を下回った。		✓
市場変化への対応のための投資	取引地方自治体と業務領域の「ダブル広域化」と「一般競争入札」案件への競争力強化のための人的・システム投資を積極的に実施した。		✓

*本変化に対しては既に対策を講じており、8月以降に成果が表れてきている。

※戦術についての説明は次頁以降でご説明いたします。

2024年3月期 通期業績

上期までに競争力強化と「ダブル広域化」の体制構築はひとまず完了、下期は、更なる追求を行うべく、必要投資を続ける。

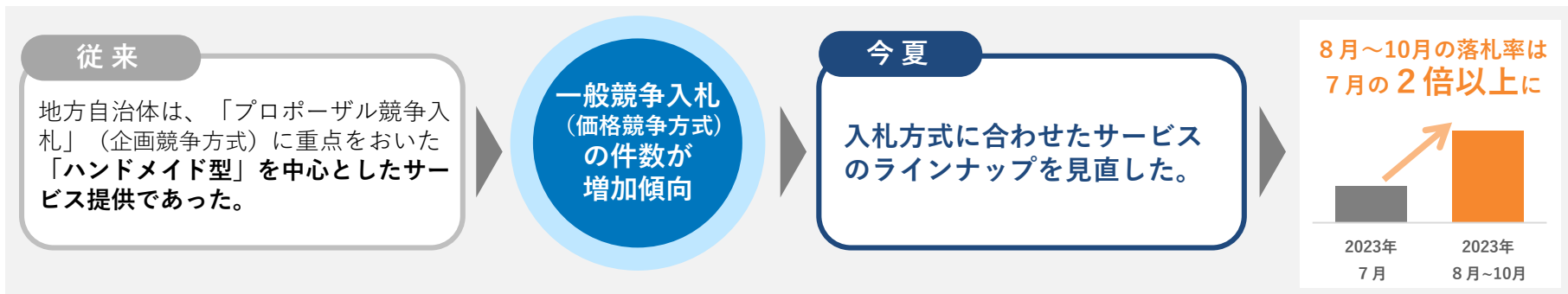
2024年3月期は、次年度以降の持続的成長を確保するための「踊り場」との認識

下方修正に至った要因	背景	業績予想への影響	
		売上高	営業利益
業績予想を修正	市場環境変化に対応するための対策を講じているものの、現時点では前回業績予想時の業績予想数値と業績実績との乖離を解消するまでに至らないと見込まれることから、業績予想を下方修正します。	✓	✓

クライアントの多様なニーズに応えられる体制を整備して、落札率の向上を図る。

- クライアント発注方法に柔軟に対応すべく、サービス提供のラインナップの充実を上期に実施しました。
- また、クライアントからの多様なニーズに対応できるように「総合ソリューション型」BPO業務受注体制を開発し、他のラインナップと合わせて現在も**ブラッシュアップを実施しております***。

* 「ブラッシュアップ」の内容については、次頁でご説明いたします。



■ 当社サービス提供ラインナップ

1. スタンダード型	業務品質を維持しながら、効率化を追求して、従来よりも低価格でのサービスを提供する。
2. ハンドメイド型	クライアントからのニーズ/提案に応じて最適なサービスをハンドメイドで作成し提供する。
新規開発 3. 総合ソリューション型	クライアントの複合的で難易度の高い課題を把握し、その課題に応じて当社から新規サービスを提案・受注していく。

【入札方式】

難易度 高

一般競争入札 (価格競争方式)	一般競争入札 (総合評価落札方式) / 指名競争入札	プロポーザル 競争入札 (企画競争方式)
●	●	●
難易度・金額が大きくなるにつれ ハンドメイド型が増加	難易度・金額が大きくなるにつれ 総合ソリューション型が増加	

サービスのラインナップ見直しによる「ブラッシュアップ」内容。

- 「総合ソリューション型」BPO業務受注体制を開発し、他のサービスラインナップと合わせて、以下の趣旨により**ブラッシュアップ**を実施しております。

- 1 従来は、要員繰り等の関係から、「ハンドメイド型」中心の営業活動展開をしており、
オファー量>受注許容量であったものの、案件受注について選別を余儀なくされていた。
→人員増強も含め「ラインナップ拡充と競争入札への対応能力向上」を図る。（「ダブル広域化」推進体制構築）
- 2 主に一般競争入札(価格競争方式)における競争力強化を実現すべく、更なる「高品質維持と効率化」を追求する。（中核人材の戦力強化、DX化推進、業務設計の改善、要員の育成・研修プログラム充実）

以上の取り組みにより、クライアントからの幅広いニーズへの対応力強化・業務品質の維持、そして、複合的・難易度の高い「総合ソリューション型」の完成度を高めていく。

更にモジュール化（業務設計等）の推進により、品質の向上とコスト最適化を進め「オンリー1」のポジションを確立していく。

2024年3月期上期及び通期業績予想の下方修正に伴い、2026年3月期までの中期利益計画も下方修正する。

- 主力のBPO関連事業の市場環境変化などにより、2024年3月期の通期業績予想を下方修正しましたことに伴い、2026年3月期までの中期利益計画につきましてもBPO関連事業の市場環境に合わせて見直しを行いました。
- 取引地方自治体と業務領域の「ダブル広域化」推進により持続的成長を実現するとともに、競争力強化のために、引き続き積極的な投資を実施する予定です。（「再展開」内容は、7ページに記載）

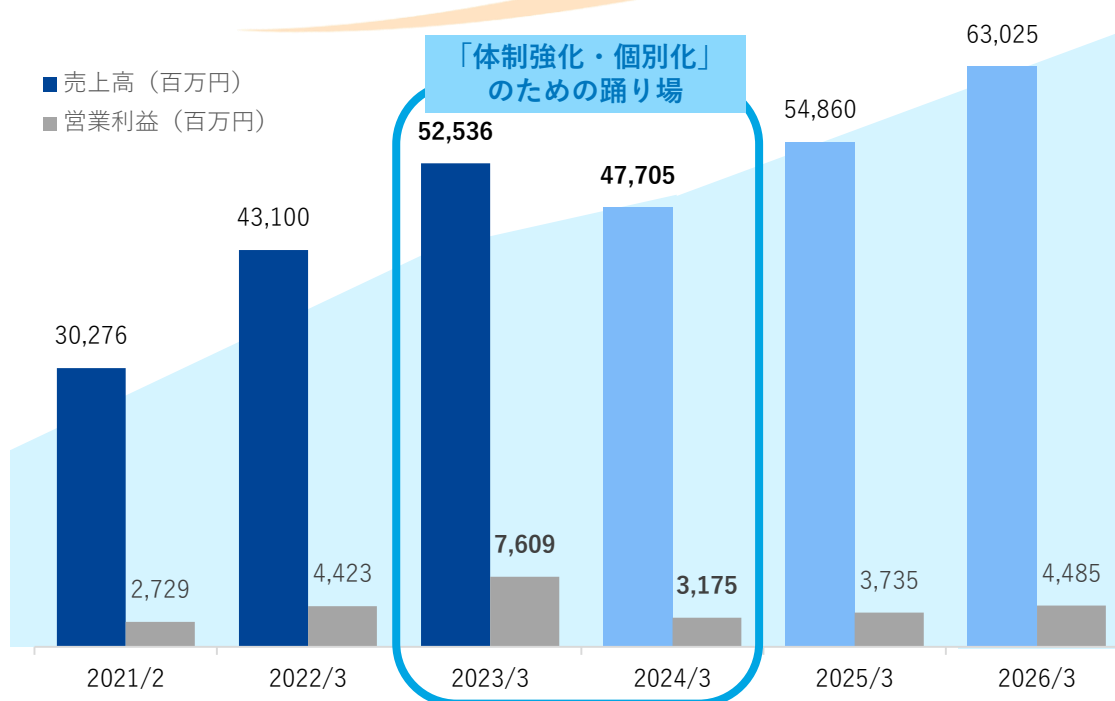
(単位：百万円)

	2024年3月期予想		2025年3月期計画		2026年3月期計画		
	修正前	修正後	修正前	修正後	修正前	修正後	
連結	売上高	62,365	47,705	70,755	54,860	80,335	63,025
	営業利益	7,010	3,175	7,972	3,735	9,384	4,485
	経常利益	7,007	3,177	7,969	3,732	9,381	4,482
	親会社株主に 帰属する 当期純利益	4,799	2,122	5,434	2,497	6,396	3,003

中期利益計画を下方修正するものの、成長は維持していく。

- 戦略的に施策を実行することで、着実な成長を持続していきます。
- 積極的にプールしてきた人材リソース、BPO運用ナレッジを幅広い分野・地域に「再展開」する。
2023年5月に発表した中期利益計画では、2025年3月期に本格始動を計画していた「再展開」を前倒して2024年3月期第2四半期後半より実施しています。

CAGR + **16%~**



「再展開」の内容



新規拠点の設置による
地方からの受注拡大



既存の地方自治体の担当窓口
拡大による案件の多様化



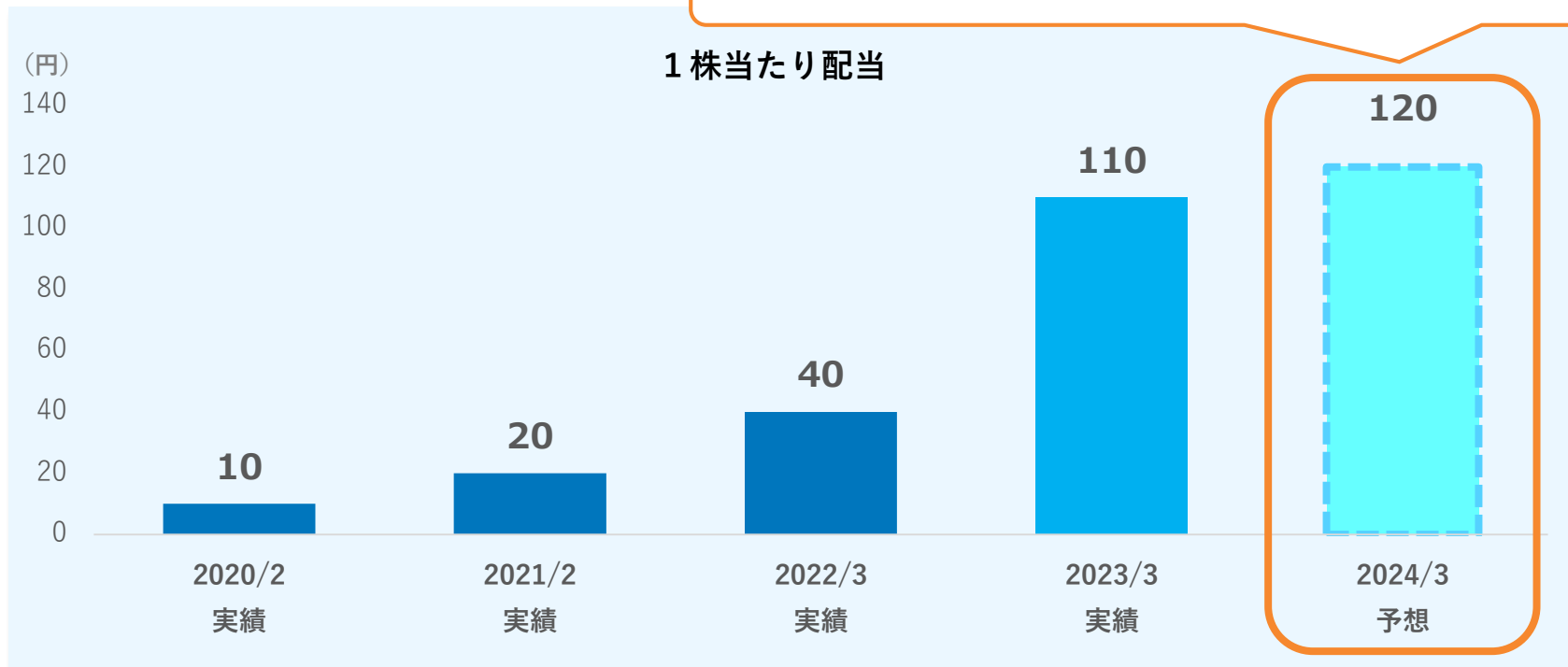
入札方式に応じた
提供サービス

※CAGRは、2026年3月期計画を最終年度とする6年間の年平均成長率

2024年3月期末配当は、1株120円の予定。

- 当社配当は、成長を持続させるための事業展開と経営基盤強化のために必要な内部留保を確保しつつ、経営成績並びに経営全般を総合的に判断し、適正で安定した配当を継続実施していくことを基本方針としております。
- 業績予想は下方修正いたしました。2024年3月期末配当予想は120円（配当性向予想67.1%）と変更はございません。

来期以降、継続的な成長が見込めるため配当予想は堅持



本資料で述べられているキャリアリンク株式会社の業績予想、計画、事業展開等に関しましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものです。

これらの情報につきましては、マクロ経済や当社の関連する業界の動向、新たな技術の進展等の既知及び未知のリスクや不確実性が含まれており、その結果によっては、大きく変化する可能性があります。

従いまして、実際の業績等が本資料と異なるリスクや不確実性がありますことをご了承下さい。